

# 事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

1125

八番丁館管理事業

[長期総合計画]

分野別目標	4	誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち
政策	9	将来に向かって希望の持てる福祉社会の形成
施策	1	地域福祉の推進
取組方針	2	地域福祉を推進する体制の充実

事業区分(1)	事業経費		管理経費	○
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	民生費		
	項	社会福祉費		
	目	社会福祉総務費		
	大事業	社会福祉総務事業		
中事業	八番丁館管理事業			

事業種別	継続		関連個別計画			
事業年度	平成21年度	～	無し	担当課・担当課長・Tel	高齢者・地域福祉課	畠山 秀人 435-1063
事業実施の根拠法令			関連課			

## 1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	利用団体が適正に使用できるようにすること。		利用団体が和歌山市八番丁館を適正に使用できるよう管理運営を行う。			
事業内容		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度
		八番丁館の維持管理	和歌山市八番丁館の維持管理	和歌山市八番丁館の維持管理	和歌山市八番丁館の維持管理	和歌山市八番丁館の維持管理

## 2 事業コスト

事業費等(千円)	平成29年度		平成30年度		平成31年度		令和02年度		令和03年度		
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	
事業費	4,688	3,919	4,682	3,720	4,263	3,240	4,208	0	4,208	0	
伸び率(%)	△7.8%	20.7%	△0.1%	△5.1%	△8.9%	△12.9%	△1.3%	△100%	0%	0%	
人件費	正規職員	1,356	1,516	1,519	1,519	1,289	1,289	0	0	0	
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	1,095	0	1,095	
	小計	1,356	1,516	1,519	1,519	1,289	1,289	1,095	0	1,095	
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	1,166	1,269	1,242	1,194	1,194	1,194	1,243	0	1,243	0	
一般財源(税等)	3,522	2,650	3,440	2,526	3,069	2,046	2,965	0	2,965	0	
所要人数 (人)	正規職員	0.17	0.19	0.19	0.19	0.16	0.16	0.00	0.00	0.00	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.48	0.00	0.48	0.00
主な予算内訳	所々修繕料700千円、管理委託料1,294千円										

## 3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
事務所団体数		団体	目標値	4	4	4	4	4
			実績値	4	4	4	4	4
			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%
団体からの苦情件数		件	目標値	0	0	0	0	0
			実績値	0	0	0	0	0
			達成度(%)	0%	0%	0%	%	%
成果指標			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

#### 4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

#### 5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	八番丁館は各種団体が事務所等で使用している施設であり、適正な管理により活動の持続性を担保する必要がある。
見直し・改善内容	築50年を経過した施設であるため、今後の利用方法、管理方法には見当の余地がある。